

大船渡だより

発行人 諏訪榮治郎
編集 スタッフ一同

『教訓と連帯』

8月19日未明に発生した大雨による土砂災害で、広島市内に大規模な被害がありました。亡くなられた方々の永遠の安らぎと被害に遭われた方々の一日も早い生活再建をお祈りしています。連日の報道で被災地に東北からいち早く駆けつけられたボランティアたちの幾つかの活動を拝見しました。彼らがよく口にされた言葉、「恩返しをしたい」や「災害の教訓を生かしたい」に感動しました。災害の数日後、カトリック広島教区は「カリタス広島災害サポートセンター」を設置し、ボランティアを被災地に派遣しました。今回も、多くの個人と諸団体による連帯は、被災者たちに大きな励ましを届けることができたとと思います。(ベース長 エドガル・ガクタン)

ベースのボランティア活動を紹介します♪

● 学生さんが大活躍!

今年の夏も沢山の生徒・学生が関西や関東から訪れ、若さを発揮し、良い体験学習をすることができました。中でも近畿カトリック学校連盟は、4回目の東日本夏期被災地支援活動として、教師・生徒 24 名が、4泊5日の活動を意欲的にこなしました。

5校から集まった高1・2年の生徒たちは、共同生活をしながら、被災地を自分の目で確かめたい、被災地の方々に少しでも寄り添って元気づけたい、小学校卒業を控えた3月11日のテレビの映像に衝撃を受け3年たっても復興にはほど遠い現状を自分の目で観たい等々、彼らの動機はいろいろでしたが、ボランティア活動を通じて豊かな体験をすることができたようです。

東北の被災者の方々が、いつも笑顔で「ご苦労さん、ありがとう」と言ってくれること、「失ったものに絶望するのではなく、今あるものに感謝し、希望を持つこと」が大切であること、「復興するんだ」という地域の方々の強い思いが伝わってきたこと、また被害も個人差が大きく精神的な溝があることなど、現地を訪れたからこそ学ぶことが多くあったと、感謝して帰宅できたとのことでした。



● 祈りをこめての写真洗浄

あらゆる世代の生きがいや健康作りなどの拠点として、幼児から年長者まで一般市民に開放されている大船渡市のY・Sセンターの一角に、津波で流された写真を洗浄する作業所があります。

カリタス大船渡ベースでは社会福祉協議会からの依頼で、時々写真洗浄のボランティアに行かせて頂いております。

写真洗浄の作業は文字通り汚れた写真を洗って干すことから始まり、荒れ狂う津波にのまれて汚れて傷んでいるアルバムから丁寧にはずす事、また不要になったアルバムを金具と紙を切り分けて処分する作業、新しいアルバムにファイルして、枚数を数えて表記することなど様々です。勿論それらは専門の職員さんによる説明と手ほどきを丁寧に受けることが出来ます。

一枚一枚は全て手作業で行われます。被災された方が直接持ってこられるものや、流されて持ち主不明のものなど様々です。それらを分けてお返しするもの、またホールや廊下に展示して一般公開して持ち主を探すようにするものなどに分けられます。被災された方々にとって、一枚一枚が最後の思い出になるものになっているかも知れないことを思い、私たちは心こめて丁寧に出来る限りきれいに仕上がるように毎回努力しています。幸いボランティアさんとスタッフはいつも職員さんの願いに応じてよい作業をさせていただくことが出来て感謝しております。

きれいに洗われた一枚の写真が災害に負けずに生きようとしている方々の宝となるように祈りをこめて続けていきます。



秋刀魚うにアワビ帆立かき祭り

8月31日(日)、大船渡市蛸ノ浦漁港(鎌田水産本社前)を会場に、『秋刀魚うにアワビ帆立かき祭り』が開催されました。会場では5000匹の秋刀魚が無料で提供され、幅広い年齢層の方々が、焼きたての大船渡の初秋刀魚を味わっていました。

会場にはゲストとして大船渡のゆるキャラ『サンマクロース』、IATのキャラクター『ゴエティー』、地元のフラダンスチームやアーティストの方々が登場し、ステージイベントを盛り上げました。やはりイベントではゆるキャラが大人気!写真撮影や握手会、ダンスも披露し、子供達の注目を集めていました。サンマクロースと子供達によるステージでのダンスには、来場者の方が飛び入りで参加したり、子供達もステージの前で一緒に踊ったりと、会場はとても盛り上がりしていました。その他にも餅まき、IBC岩手放送のラジオの生放送、アナウンサーによるじゃんけん大会も行われ、会場は大盛況でした。

何日間か不安定な天候が続いていた大船渡でしたが、イベント当日は天候に恵まれ、県内外から本当にたくさんの来場者がありました。美味しい初秋刀魚を求め、海産物の物販ブースには朝早くから長蛇の列ができていました。午前9時半からのイベントにも関わらず、中には朝5時から来られていた方もいたそうです。会場や会場までの道のりは約500枚の大きな色鮮やかな船旗で彩られ、見る人の目を楽しませていました。震災後も、大船渡の秋刀魚の美味しさは変わらず、たくさんの方々を集めるパワーがあることを改めて実感できたイベントでした。



ベースからのお知らせ

1) ボランティア大募集!!

①サンタが町にやってくる!!

サンタクロースに扮して、大船渡の子どもたちへ「夢」と「プレゼント」を届けませんか?

12月14日(日): 総勢1,500個のお菓子の袋詰め

12月20日(土)(イベント前日): 会場の飾りつけ等

12月21日(日)

(イベント開催日): サンタに扮して市内を歩いたり、子供たちにプレゼントを配ったり、遊んだりします。ボランティアさん大募集です!!

②11月1日(土) 地の森八軒街 ふれあい月市内でのバザーや子供広場

2) ボランティア受入中止日

①11月22日(土)・23日(日)

ベースが大船渡市長選挙の投票所になるので、ボランティアの受入を2日間中止します。

②12月28日~1月4日 年末年始のお休みになります。



震災から
3年6ヶ月...

大船渡市の元中心地の様子 (2014/09/11 撮影)

ボランティア登録者数 男性465人、女性793人:合計1258人

8月16日~9月15日 ボランティア数 男性:29名、女性:37名

8月・9月

地域の変化
活動紹介

8月 16日: 地の森八軒街 ふれあい月市

地ノ森二区 盆踊り

18日~22日: 近畿カトリック学校連盟

25名 活動参加

20日: カリタスシネマ

23日~24日: 聖パウロ学園 16名 活動参加

23日: 長洞仮設住宅 夏祭補助

三陸国際芸術祭 イベント補助

26日~29日: 星美ホーム 7名 活動参加

31日: 秋刀魚うにアワビ帆立かき祭りで、

サンマチのお手伝い

9月

1日: 個人依頼 自宅建設予定地の整備

4日: 大船渡アクションネットワーク会議

6日: 大塚司教様 来大

大船渡教会の皆様と食事会

大船渡復興東北三大祭り

7日: 大船渡教会

大塚司教様による御ミサと高山右近についての講話

リアスウェーブ内でのサンマチフリーマーケットお手伝い

10日: ノートルダム清心女子大学 36名 活動参加

カリタスシネマ

11日: 3年6か月 月命日

13日: ベースでの国際交流デー 4か国参加

14日: 大船渡町敬老会への送迎



↑秋刀魚うにアワビ帆立かき祭りの様子

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家

電話・FAX: 0192-47-4737 (9:00~18:00)

急用時: 080-2440-5610

● 〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2

● Eメール: ofunatobase@gmail.com

● ブログURL: http://ameblo.jp/ofunatobase/